

2023 年度 事業計画書

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

1. 通信づくり講習会、新聞教育指導者講習会等、教師又は大学の教職課程の学生を対象とした講習会を開催する。また、ビデオ会議システム(ZOOM 等)を備え、時代に即した対応も実施する。
2. 学校における各種通信の教育効果についての調査・研究
 - ・ GIGA スクール構想など学校を取巻く環境の変化を見据え、通信活動のあり方を調査・研究する。
3. いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究
 - ・ はがき新聞を利用した学級力向上研究会等の研究活動を支援し、よりよい学級づくりの事例を集め、全国に伝播する。
 - ・ 「学級力向上プロジェクト・フォーラム」と称し、実践を広く発表する場として関東・中部・関西合同のフォーラムを開催する。

日時 2023 年 8 月 18 日(金) 13:00～17:00(予定)

開催方式 オンライン

対象 全国の教育関係者 200 名

A-2 教師による自作教材の調査・研究

学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚的效果などについて調査・研究をする。
カラー化された研究成果を冊子化し授業ノウハウの共有化を図る。

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

1. はがき新聞の教育効果に関する調査・研究
 - (1)コンパクトテキストによる文章表現力育成についての研究
 - ・ はがき新聞、言葉のポケット等の教材を充実させ、書く力の育成をサポートする。
 - ・ はがき新聞を使いコンパクトに書くことでの教育効果向上を図る研究をする。
 - (2)はがき新聞研究会によるノウハウ集約と実践の伝播
 - ・ はがき新聞研究合同部会
- 日時 2023 年 10 月 1 日(日) 13:00～16:00(予定)
- (3)2023 年度 理想教育財団教育フォーラムの開催
 - ・ 第 13 回 教育フォーラム
- 日時 2024 年 2 月 25 日(日) 13:00～17:30(予定)
- 会場 時事通信ホール(東京都中央区銀座)
- 対象 全国の教育関係者及び財団関係者 250 名(対面 150 名、オンライン 100 名)
- テーマ 未定
- (4)地域における小規模フォーラムの企画実施
 - ・ 各地の教育機関と連携し、地域に根ざしたミニフォーラムを開催することにより、地域への情報提供を図る。

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

既存刊行物の増刷、再編集等(古くなった刊行物等のWeb化により、在庫削減を図る。)

B-2 研究情報誌の発行

機関誌「季刊理想」の発行。内容充実のため、現場取材(オンライン取材含む)を励行し、分かりやすく実践に即した情報を盛り込む。

B-3 ホームページの運用

財団事業の告知や活動報告、情報開示のほか、プリントコミュニケーション活動に役立つ情報の提供をさらに充実させる。

- ・はがき新聞を分かりやすく解説したポータルページを新設し、はがき新聞への理解を深める。
- ・早稲田大学 森山卓郎教授監修のもと授業や自習にも使えるコンパクト教材を用意したページを開設すると共に、教材コンテンツの拡充を図る。

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援の事業

1. 文化芸術教育の充実に関する事業への助成

各地の教育委員会が主催する、学校における文化芸術活動の発展・充実と、児童・生徒の健全な育成を目的とする事業を支援する。

2. その他、プリントコミュニケーション活動、コミュニケーション文化の発展に関わる事業に必要な応じ助成・支援する。

C-2 新聞教育の普及・振興

1. 新聞教育に対する支援

各地で開催される新聞コンクールや研究大会を支援する。

C-3 日本人学校等への支援・助成

1. 児童図書への寄贈

海外日本人学校(補習授業校を含む)10校に対し、1校あたり児童図書約40冊を寄贈する。

2. 海外・日本語教育及び途上国への教育支援

C-4 コンクールの開催・顕彰

第18回プリントコミュニケーションひろばを開催する。個性の光る通信の発掘の場とし、前回からの刷新内容を継承する。

その他

財団運営の中長期視点に立ち、新たな事業企画の模索と創出の活動にあたる。また、実施可能な事業については、その準備に着手すると共に実行にあたる。

以 上